

# 発言



## ホタルに影響

### 道路工事反対

機部 聡実 中学生15

(名古屋緑区)

ヒメボタルが生息する地元の相生山緑地を横断する道路の工事再開の可否が来年一月までに決まるという。

「道路建設は中止」。そう決まってほしいと、私は心から願っています。

いる。

小学二年生のときに

初めてヒメボタルを見て感動した。それ以来、

ヒメボタルの季節になると毎年欠かさず相生山緑地を訪れている。

ヒメボタルは黄色に緑をぼつんと垂らしたような光を発する。いつの間にか何十匹も集まって大きな光となり、それが波打ったり

しながら移動する。今も成長して夜遅くまで現地にいられるようになる。大きな光を見られるチャンスが増えた。初めてヒメボタルを見たときの感動は、中学三年になった現在も、色あせることはない。

ヒメボタルは陸生。幼生の間を陸、つまり腐葉土で過ごす。工事が再開すれば腐葉土が減って、ヒメボタルも減少してしまう。また緑地が分断されると、生き物が行き来できなくなり、ヒメボタルなど短命な生き物の繁殖に多大な影響を及ぼしてしまふ。また強い光

も有害だ。

道路工事が行われていくと知ったときの激しい怒りは、今も収まっていない。相生山緑地の美しい自然を壊さないでほしい。

## 自然豊かな相生山緑地守りたい

主婦 柴田 美世子

(愛知県 69)

自然をテーマにした米国のフォトコンテスト「ネイチャーズベストフォトグラフィ」が実施している日本版コンテストのホームペーシに、知人で大阪在住の写真家がヒメボタルのエッセイを載せている。

名古屋の相生山緑地のヒメボタルの美しい写真と共に「鑑賞のマナーが素晴らしい」「地元の人々に守られているという印象を受け」と書いてくれている。このヒメボタルの国内最

大規模の群生地とされ、自然豊かな緑地に道路建設が計画されている。2004年に工事が始まったが、河村たかし名古屋市長の指示で10年から中断。同市長は先月、来年1月末までに地元住民から意向を聞き、建設を続行するか中止するか決めたいと述べたという。

なぜ今、道路が必要なのか。子や孫に残してやれる本当に価値あるものとは何なのだろうか。大阪の写真家に「とうとう工事が始まってしまいましたが」と言われぬようにしたい。

# 「住民投票」市長譲らず

## 相生山の市道 話し合い平行線

工事中断から四年近く経過した太白区の市道弥富相生山線をめぐり、河村たかし市長は二十日、太白区役所で地元四学区の区政協力委員長ら七人と意見交換した。工事再開の是非を住民投票

で決めようとする市長に対し、出席者は「投票は地域に亀裂を生む。市長判断で着工を」と求めたが、市長の意思は変わらず話し合いは平行線に終わった。

話し合いは非公開で

行われた。河村市長は終了後、道路の早期整備を求める要望書を受け取ったことを明らかにする一方、「住民投票は市長選の公約で、考えは変わらない」と明言。来年早々、四学区の住民を対象に実施

する考えをあらためて示した。

四学区のうちの一つ、山根学区の区政協力委員長、原宏さん(モコ)は「市長とは激論になった。築き上げた地域の絆に亀裂を生じさせてまで投票をやるのは悲しい。市長の高度で責任ある判断を求める」と述べ、地震や洪水に備える避難道路としての役割に期待し

ている。出席者らは同日、相生山線の早期開通を求める請願を初めて市議会に提出。二十八日の市議会定例会で追加上程される予定だ。

相生山線は二〇〇四年に着工し、八割が完成したが、河村市長は一〇年、相生山緑地の自然環境保護などを理由に工事を中断した。

(沢田千秋)